

自主宣言の運用について

農林水産省 消費・安全局 食品安全政策課

一般社団法人日本食鳥協会

自主宣言プロジェクト

一般社団法人日本食鳥協会において、自主宣言を運用するため、『自主宣言プロジェクト』を立ち上げる。

検討会の議論を踏まえ、当面、① ガイドラインの策定、② 利用規約の策定、③ ポータルサイトの立ち上げなどの作業を実施予定。

自主宣言の主な構成

○年 ○月 ○日

〇〇〇〇自主宣言

生産者・経営体名

理念

衛生管理の具体的な取組

独自の取組

自主宣言ガイドライン

生産者及び食鳥処理事業者が、自主宣言に必要な事項を定めたガイドラインを策定。

自主宣言利用規約

自主宣言の適正な運用ルールを規定した利用規約を策定。

自主宣言ポータルサイト

自主宣言の視認性を高めるなどのため、専用のポータルサイトを立ち上げる。

自主宣言の構成と考え方（ガイドライン）について

現時点での自主宣言の構成は、①宣言の年月日、②宣言の名称、③生産者・事業者の経営理念、④衛生管理の取組、⑤独自の取組などになる。

ガイドラインにおける ③生産者・事業者の経営理念、④衛生管理の取組、⑤独自の取組について、現時点での考え方は以下のとおり。

経営理念

（必須事項）

生産者等が、畜産物など食材・食品を生産・加工・流通させる上で、食品安全・消費者の信頼確保の観点から、最も大切にしている考えや信念を掲げる。ここで掲げたものは、単なるスローガンに終わらせるのではなく、社会（消費者）との約束と位置付け、確実に実行する必要がある。

（参考）企業の経営（企業）理念

・日清食品（ホームページより抜粋）

食は人々の生命の根源を支える仕事です。食の仕事に携わる者は、社会に奉仕するという清らかな心を持って、人々の健康と世界の平和に貢献していかなければなりません。食の仕事は聖職なのです。安全で美味しくて体にいい食品を世の中に提供していくことが、日清食品の使命です。

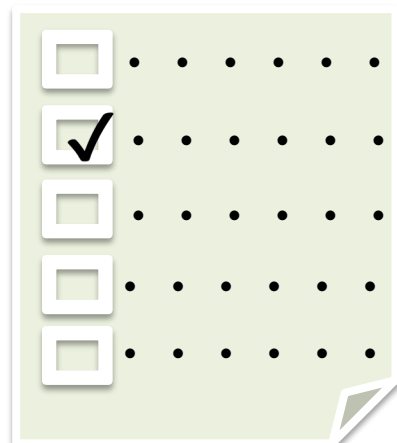
自主宣言の構成と考え方（ガイドライン）について

衛生管理の取組

（必須事項）

自主宣言の目的は、生産段階・食鳥処理段階における衛生水準の向上を図ることなどであるため、生産者等は科学的知見に基づいた管理手法による取組は必ず実践する必要がある。

具体的な取組については、生産段階は「鶏肉における衛生管理ハンドブック」に記された衛生管理の項目、食鳥処理段階はHACCPに沿った衛生管理を前提に、HACCPに上乗せする取組（カンピロバクターに係る自主基準の設定、加熱用の情報伝達の徹底等）の項目（検討中）とする。



- ・ 記載内容については、衛生管理のプロセス、手段など、技術的な内容がわかるよう、取組項目に即して具体的に記載。
- ・ 取組は、農場・施設の実情に応じて、科学的根拠に基づいて妥当な内容を記載。
- ・ 複数の生産者・事業者による協働した取組でもよい。

自主宣言の構成と考え方（ガイドライン）について

自主宣言の衛生管理については、鶏肉の生産衛生管理ハンドブック（改訂版）を基礎として、各生産者等が衛生管理の取組を記載。現行の同ハンドブックの記載を基にして整理すると、以下のようなイメージ。

（14）水を介して食中毒菌が侵入するおそれがあるため、消毒した水を使いましょう。

野生動物のふん便には食中毒菌が含まれていることがあるので、これが混ざっていた水を飲むことによって、鶏が食中毒菌に感染してしまう場合があります。

このため、沢水などを使う場合は、次亜塩素酸などで消毒してから使いましょう。また、貯水槽にふたを
るなど、野生動物やそのふん便などが入らないようにしましょう。（同ハンドブック7ページ）

○ 自主宣言のイメージ ～飲水を例に～

- ・ 単に「沢水を消毒して飲水に使用しています」「貯水槽にふたをしています」と記載しただけでは「**安全な飲水が供給されていること**」を正確に認識されにくい。
- ・ 生産施設で使用する飲水を例にみると、水源の確保から衛生的な飲水の確保まで、飲水の供給システムの始点から終点の間において、具体的な取組を記載することを想定。
- ・ 具体的には、①**水源の確保**；沢水の飲水使用の場合は、年1回以上水質検査を受け飲水として適していることを確認し検査結果を公表。②**貯水槽の管理**；貯水槽は年1回以上清掃が記録で確認。③**給水管の管理**；給水管の内部にフィルターを設置し定期的にメンテナンスを実施。④**衛生的な飲水の確保**；遊離残留塩素を配管の始点と終点で定期的に測定し記録。飲水と雑用水の分離管理の徹底。
- ・ これらの取組を複合的に組み合わせ、写真やわかりやすい説明により「**安全な飲水が供給されていること**」として、自主宣言とすることを想定。
- ・ 今後、同ハンドブックの改訂を踏まえ、ガイドラインを作成する中で、生産者や有識者などの意見を参考に、より実態に即した有用な自主宣言となるよう検討。

自主宣言の構成と考え方（ガイドライン）について

独自の取組（任意事項）

一般に、消費者が生産現場における衛生管理及び消費者の信頼確保の具体的な内容や、生産者等の努力を認識することは容易ではない。消費者に対し、衛生管理の取組等への努力やこだわりを伝え、「生産者の取組に共鳴する力」や「買う前に購買行動を動機づける力」につなげる。

消費者に「興味を持って」「好きになって」もらうため、自社において特に力を入れている（こだわりの）衛生管理に関わる取組について、写真などを交えてわかりやすく記載する。

<イメージ>

○ 水へのこだわりの取組

（例）四万十川を源流とした、私たちが飲む水と同じ衛生水準の水で、私たちの鶏はひなから大切に育てています。

○ 飼料のこだわりの取組

（例）おいしさを求めて、自社の微生物基準をクリアした良質な飼料を与えて育てています。

○ 最新の機材を活用した衛生管理の取組

（例）最新の鶏舎環境整備システムを導入し、鶏舎内の空気の清浄化、温湿度管理を徹底して疾病発生防止に努めています。

○ トレーサビリティの確保の取組

（例）ひなから鶏肉になるまで徹底した管理を行い、自社で生産した製品のトレーサビリティを確立しています。

など

運用のルールについて

利用規約

自主宣言がポータルサイトに掲載された場合、適正な利用・運用に資するため、予め運用のルールを定めておくことが必要である。

具体的には、以下の事項が想定され、引き続き、検討する。

- 目的
- 自主宣言の申請
- 著作権の扱い
 - ー ポータルサイトに掲載するコンテンツの帰属 等
- 禁止事項
 - ー 目的外使用の禁止、公序良俗に反する行為の禁止 等
- 免責事項
 - ー 故意、重過失の場合を除き、利用者等の損害の免責 等
- 個人情報の扱い
 - ー 氏名、メールアドレス等の個人情報の適切な取扱いに係る規定 等



ポータルサイトについて

ポータルサイト

日本食鳥協会は、自主宣言した生産者・食鳥処理事業者を取りまとめて掲載するポータルサイトを立ち上げる。

ポータルサイトについては、見せ方などを工夫した構成を検討。

- 技術的な事柄をわかりやすく、商品の魅力が伝わるように文章で表現
- 写真などを活用しイメージしやすくする工夫、SNSで生産者の日々の活動の発信
- 消費者と生産者との交流や対話できる機能の付加

先行例



ホワイト物流推進運動

(出典：国土交通省)



Plastics Smart

(出典：環境省)

ポータルサイトイメージ

自主宣言の掲載

生産者・事業者名をエリア別に五十音順に掲載予定。

取組を「タグ」にすることで、取組での抽出も可能にすることを検討。

ポータルサイトに直接掲載する宣言内容は、簡易的なものとし、フルバージョンはPDFで個別に掲載する形式を想定。

The screenshot shows a web interface for autonomous declarations. At the top, there are two search buttons: 'エリアで探す' (Search by Area) and '取組で探す' (Search by Activity). Below these are buttons for different regions: 北海道東北 (Hokkaido Tohoku), 関東 (Kanto), 北陸東海 (Hokuriku Tohoku), 近畿 (Kansai), 中国四国 (Chugoku Shikoku), and 九州沖縄 (Kyushu Okinawa). A red location pin icon indicates the selected area, '北海道・東北エリア' (Hokkaido Tohoku Area). Below this, there are three tags: '●●ファーム' (selected), '●◆農場' (Farm), and '●△養鶏場' (Poultry Farm). A blue arrow points from the '●●ファーム' tag to a detailed view of the declaration. The detailed view shows a profile for '株式会社●●ファーム' (Company ●● Farm) located in 'XX県XX町' (XX Prefecture XX Town). The profile includes an icon of two farmers and a text box stating their commitment to food safety and health. Below this, there are two orange boxes: '衛生管理の取組方針' (Food Safety Management Policy) and 'こだわり' (Commitment). The '衛生管理の取組方針' box contains a thumbs-up icon and the text '病原体の侵入防止対策、飲用水の消毒' (Measures to prevent pathogen invasion, disinfection of drinking water). The 'こだわり' box contains text about raising chickens without antibiotics or synthetic antibiotics, in a natural environment. At the bottom, there is a link: '●●自主宣言フルバージョンはこちら ⇒ [PDF]' (Full version of the autonomous declaration for ●● is here ⇒ [PDF]).

エリアで探す 取組で探す

北海道東北 関東 北陸東海 近畿 中国四国 九州沖縄

北海道・東北エリア

●●ファーム ●◆農場 ●△養鶏場

株式会社●●ファーム
XX県XX町

鶏肉産業を通じて、食の安全、安心、健康をお客様に届けることを目指します。

健康で安全な鶏を生産するため、日常の衛生管理の徹底の中でも、特に以下の項目について取り組みます。

👍 病原体の侵入防止対策、飲用水の消毒

飼育期間中、抗生物質や合成抗菌剤を一切使用せずに鶏を育てています。
自然豊かな山のふもとですくすくと育った鶏は、旨味とコクがあり、しまった肉質は素晴らしい環境から生まれています。

●●自主宣言フルバージョンはこちら ⇒ [PDF]

ポータルサイトイメージ

応援企業の掲載

自主宣言プロジェクトに賛同する企業・団体・飲食店を「応援企業」と位置づけ、ポータルサイトに掲載。

飲食店については、鶏肉料理を扱っている店舗に限定することを想定。

企業・団体については、食肉加工会社・仲卸・小売り業者等、なんらかの形で鶏肉を取り扱う者の他、鶏肉を生産する自治体、消費者団体、鶏肉の食中毒対策を推進する学術団体等も含めることを想定。

●●自主宣言をした養鶏農場・食鳥処理場を応援します！

●●自主宣言運動に賛同し、応援してくださっている企業・団体を紹介します。(五十音順)
各企業・団体をクリックすると企業・団体のサイトに飛びます(外部サイト)。

飲食店



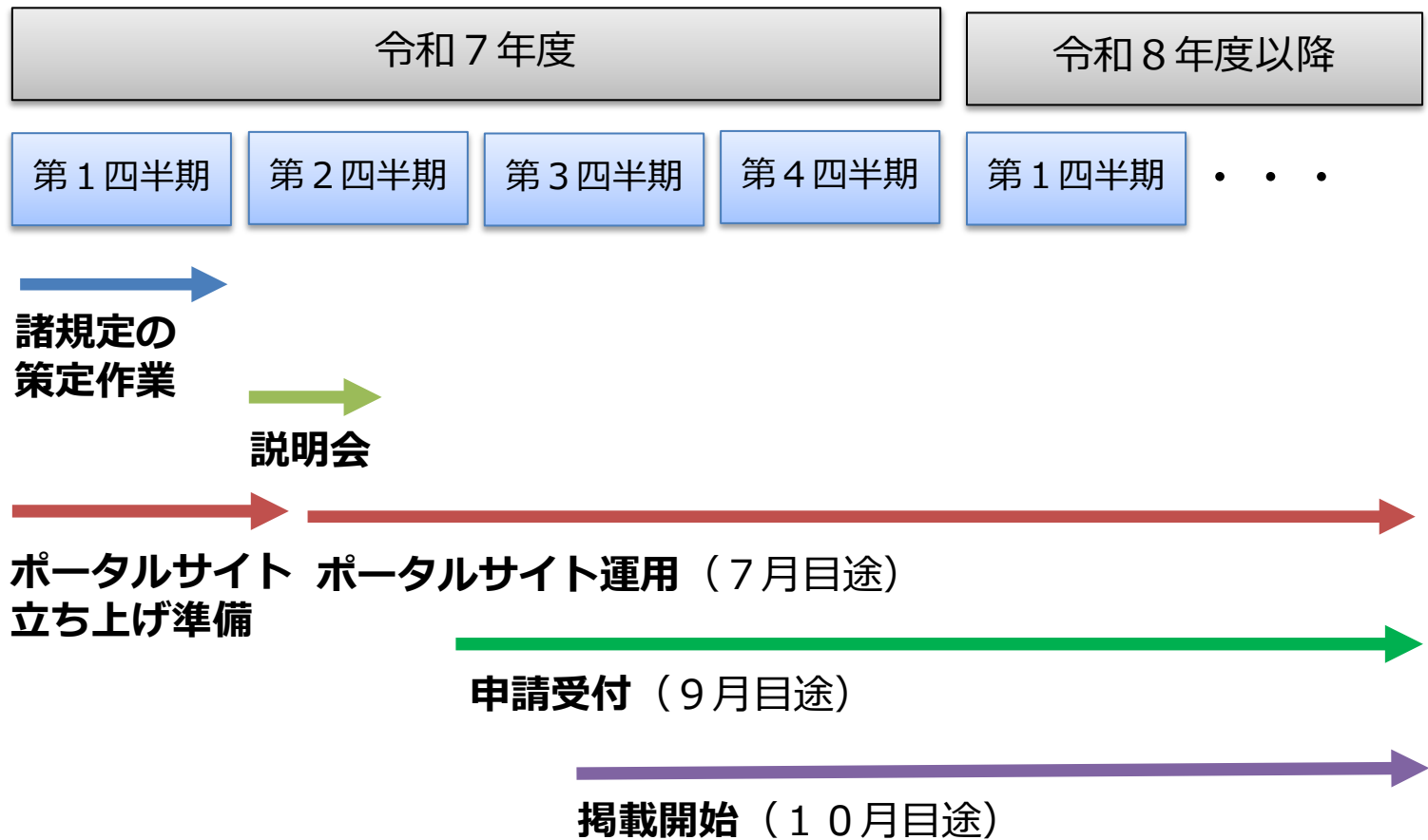
企業



団体



自主宣言の工程表（案）



**小売業者・
飲食店**

自主宣言の申請受付・掲載時期については、生産者・食鳥処理事業者の運用状況や、実行性確保の仕組の検討等を踏まえ、今後判断。

実行性確保するための
仕組の検討